

お口の健康

第24回 歯根破折



湯沢市・雄勝郡
歯科医師会

ホームページ：
<http://www.yutopia.or.jp/~yoda/>

抜歯になる原因で多いのは歯周病と虫歯ですが、次に多いのが歯根破折です。歯根破折とは歯ぐきの中にある歯の根（歯根）が割れたりかけたりすることを言います。虫歯や歯周病ほどではありませんが、結構遭遇します。歯根破折は神経の無い歯や神経を取り除かれた歯に起きることがほとんどで、神経のある歯ではごくたまに起きる程度です。

歯根破折が起きたときは、次のような症状が現れることが多いようです。

- ・ 噛むと痛い、違和感がある
- ・ 歯ぐきが腫れる、膿や出血が見られる
- ・ 歯ぐきにプツツとおでき（膿の袋）ができる
- ・ かぶせた歯（差し歯など）が土台ごと取れる
- ・ 根の病気が治療しても改善しない

歯根破折した場合、その破折状態によっては接着力の強いセメントで破折部分をくっつけることが可能な場合もありますが、大多数は残念ながら抜歯になります。特に中高年の方で残っている歯が多く、かつ咬み合わせが良い方は、噛みしめや噛み込みが習慣になっていて臼歯部の歯根にヒビが入ったり割れることが多いようです。歯根が割れてしまうとそのヒビに沿って細菌が侵入しさらに奥まで入り込んできます。

進行すると歯根周囲の骨が吸収を起こし、さらに進むと歯が動揺して隣の歯や周囲組織にまで影響を及ぼすこともあります。

歯根破折の予防方法

神経のある健康な歯がいきなり折れたり割れたりすることは希で、虫歯の治療が繰り返し行なわれたり、神経を取り除いた歯に起きることがほとんどです。

したがって、そのリスクを減らすにはできるだけ歯の神経を取らずに済む初期の虫歯のうちに治療することが大事です。また、片側咬み、歯ぎしり、食いしばりや硬い物をよく食べる人も要注意です。そのため、定期健診や正しい歯みがき、規則正しい食生活など、生活習慣を見直すことも歯の寿命を延ばすことにつながるのです。



歯根破折（矢印部）した為冠が土台ごと脱離した例